

先輩の声2023



Aさん

所属：相談部門

年代：20代

勤務年数：1年目

入職前の経歴：新卒
(4年制福祉系大学卒業)

——インタビューよろしくお願いします。まずは所属している部署と、入職するまでの簡単な経歴を教えてください。

Aさん：

よろしくお願いします。私は現在、相談部門の基幹相談支援センターに所属しています。4年制の福祉系大学を卒業しまして、新卒として入職しました。まだ働き始めて1年目です。

——基幹相談支援センターに所属されているということですが、具体的にどのようなお仕事をされているのですか？

Aさん：

私の所属している基幹相談支援センターは、主に成人を対象として、障害のある方・障害の疑いのある方やその家族を始めとした地域の相談を受けています。関係機関と連携しながら、一緒に支援を考えています。

——なるほど。関係機関との連携ということですが、施設内だけでなく、外へ出て活動することも多そうですね。

Aさん：

はい。ケース支援で訪問に行く際は、電車や電動自転車などで移動しています。

——その他には、基幹相談支援センターの特徴的な業務などありますか？

Aさん：

あとは法人で成年後見を受任してしまして、後見人として金銭管理を始めとした後見業務や地域の会議に参加したりしています。基幹相談支援センターでの業務は、他の部署と比べて幅広いのが特徴だと思います。様々な研修に参加させてもらう機会も多くて、これからの支援に活かせるようにたくさん学んでいる毎日です。

——毎日たくさんのことを学びながら仕事に取り組まれているんですね。仕事では大変なことも多いと思いますが、困ったことなどありませんでしたか。

Aさん：

そうですね、支援をしているなかで疑問に感じることや「どうしたら良いかな」と悩むことがあれば、先輩方にその都度相談をしています。どの先輩も丁寧に私の話を聞いてくださいますし、新人の私にも分かりやすく伝わるようアドバイスをしてもらっていると感じます。経験や勤めている年数に関係なく、職員間で情報を共有しているので、一人で抱え込みがちになる業務ではあるのですが、みんなで一緒に考えていける環境だと思います。

——みんなで協力するという環境があるのは、支援という仕事をしていくうえでとてもいいですね。いま話してくださった中にもありましたが、事業団に入職してよかったと感じることは他にもありますか？

Aさん：

よかったことといえば、入職前は“年次有給休暇”ってよく聞くけれど、実際にどうやって使うのだろうと思っていました。実際に働いてみて、年次有給休暇を利用し、旅行やコンサートに行くなどプライベートを充実させられて良かったです。

——きちんとリフレッシュもできているんですね。

Aさん：

あとは、私は「東大阪市社会福祉事業団」と聞いて少し堅いイメージを持っていたのですが、いわゆる「縦割り」な感じではなくて、部門を超えて職員間で交流する機会も多かったんですね。そのおかげで、それぞれの視点からさまざまな意見を聞くことが出来て、勉強になることが多いです。

——なるほど、同じ部署だけでなく法人全体で職員間の交流があるんですね。それでは最後になりますが、事業団に入職を考えているみなさまへのメッセージをよろしくお願いします。

Aさん：

大学を卒業して新社会人になり、働き始めた当時は不安もありましたが、職場のみなさんが暖かく迎え入れてくださったことが心の励みになって、とても安心したことを覚えています。人それぞれやりたいことや経験してきたことは違うと思いますが、お互いに尊重しあいながら「支援」に繋がっていけたら良いなと思います。「支援」に正解はないとよく言いますが、まずは何事も挑戦することが大事だと日々感じています。

——今回はいろいろとお話くださりましてありがとうございました。

